

◇ 令和4年度指定管理者事業評価書

施設名	笠縫東まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,858,000円	/	14,027,597円	収入は、事業実施に係る制限もあり目標に達しなかったが、施設維持管理経費以外の部分で節減に努め、総合的には堅実な運営が進められた。	住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。	
施設HPアドレス	www.machikyou.jp/kasanuihigashi		2年目	17,889,000円		16,285,063円	学びに関する取組みは、計画に対し中止せざるを得ない状況が続く、ほぼ前年並みの収入となった。極端な暑さ・寒さの時期が長く光熱水費等の支出が目立ち、前年度を少し上回る額だが、総合的には堅実な運営が進められた。	住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。	
指定管理者名	笠縫東学区まちづくり協議会		3年目	18,225,002円		14,340,234円	施設維持管理経費以外の部分で節減に努め、総合的には堅実な運営が進められた。	住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。	
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目						
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目						

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
<p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、住民の安全を再優先とした各事業の計画および実施に努める。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、適切な対策を行って安心・安全な施設環境の維持に努められた。 施設の建替計画もあることから、施設を活用した地域住民主体の多様な取り組みなど、コミュニティの更なる醸成に期待したい。</p>	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に細心の注意を払いながらの運営に心がけた。役員会や理事会は通常の開催を、定期総会は、書面による議決権行使書の方法により開催した。5年1月に開催した臨時総会については、参加型の総会とした。年間を通して、不特定多数の人が集まる諸事業については、今年も中止せざるを得なかった。</p>		<p>(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。</p> <p>(利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料金制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけたよう努めていただいた。</p>	

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること 	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	昨年度に比べ利用者数・利用件数とも増加している(利用者数 1,431人、利用件数 763件)。有料の使用については、ほぼ前年同様。常に利用者の利便性の優先および事務の簡素化を念頭に管理を進めている。	上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。利用状況については、新型コロナウイルス感染症の落ち着きもあって昨年度に比較して利用者数・貸館数ともに増加した。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	昨年度に比べ利用者数・利用件数とも増加している(利用者数 954人、利用件数 476件)。有料の使用については、ほぼ前年同様。常に利用者の利便性の優先および事務の簡素化を念頭に管理を進めている。緊急時(台風時の避難所)の対応についても、的確に対応できた。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。利用状況についても、新型コロナウイルス感染症の落ち着きもあって昨年度に比較して利用者数・貸館数ともに増加した。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

施設および備品の維持管理等				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	24時間の警備に努めるとともに、日頃の衛生環境の保持に加え、感染防止対策のため設備・備品等にはこまめな消毒を心掛けた。常に利用者の利便性の優先および事務の簡素化を念頭に管理を進めている。	上半期評価	施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃について適切に実施された。下半期に向けては、特別清掃や消防訓練について、計画的に実施されたい。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	24時間の警備に努めるとともに、日頃の衛生環境の保持に加え、感染防止対策のため設備・備品等にはこまめな消毒を心掛けた。常に利用者の利便性の優先および事務の簡素化を念頭に管理を進めている。また、消防訓練を実施し利用者の安全に心がけた。	下半期評価	上半期に引き続き施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃について適切に実施された。特別清掃や消防法に基づく消防訓練については、適切に実施された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務の基準				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	事業等の実施は、感染対策を十分に講じ、当学区の課題を少しでも解決できるような講座の企画に心がけた。毎月1回の情報誌の発行は、地域に愛着心を持ってもらえ、いつまでも住み続けたいと感じられる内容に心がけた。ホームページには、毎日の野菜等の入荷情報や施設の利用状況を更新するなど、サービスの向上に努めた。	上半期評価	仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信について適切に実施された。また、継続的に行っている野菜の販売所では、日々の野菜の入荷情報の発信を行ってサービス向上に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	事業等の実施は、感染対策を十分に講じ、当学区の課題を少しでも解決できるような講座の企画に心がけた。毎月1回の情報誌の発行は、今年度がまち協設立10周年であるため14の町内会から「わが町の10年」、各団体からは「わが団体の10年」と題した原稿をいただき掲載することができた。ホームページには、毎日の野菜等の入荷情報や施設の利用状況を更新するなど、サービスの向上に努めた。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信について適切に実施された。ホームページに掲載されている野菜の販売所の入荷情報などこまめな情報発信に努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	

経営管理に関する業務				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	適正な職員配置(防火管理者含む)に努めた。組織としての管理運営を進めるため、主な研修は毎日のOJTを進めてきた。パブリックコメントや市政情報の発信に努めた。経費の節減については、裏紙の活用や休み時間中の消灯に努めた。	上半期評価	仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。経費削減については、裏紙の活用や休み時間中の消灯などに努められた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	適正な職員配置(防火管理者含む)に努めた。組織としての管理運営を進めるため、主な研修は毎日のOJTを進めてきた。パブリックコメントや市政情報の発信に努めた。経費の節減については、暖房に灯油を主に使用したり裏紙の活用や休み時間中の消灯に努めた。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。経費削減についても同様に継続して実施された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	